

Leçon 12 提出日： 月 日 氏名



Point では、赤字・緑字の部分にマーカーをひいて、ポイントを確認しましょう。



Check のところは、赤字・緑字の部分を書き込みましょう。

Leçon 12 のメニュー

1. 目的語の働きをする人称代名詞
2. 直接目的語の働きをする人称代名詞
3. 間接目的語の働きをする人称代名詞

【自律学習コーナー】

1. 目的語の働きをする人称代名詞（つづき）
2. 目的語の働きをする人称代名詞と命令文

1. 目的語の働きをする人称代名詞

まずは、フランス語の目的語の働きをする代名詞の特徴を見てみましょう。

例えば、「私はきみを愛している」と言いたいとき、・・・

フランス語の例文中にある *t'* は英語の *you* にあたり、目的語の働きをしています。ということは、目的語の働きをする代名詞はフランス語では動詞の前に置かれるということだね。

フランス語は *Je t'aime!*

英語は *I love you!*

フランス語の目的語の働きをする代名詞の特徴をもうひとつ見てみましょう。

フランス語の目的語の代名詞は、日本語とも違っているところがあります。

日本語では代名詞は普通は省略できます。特に、会話では代名詞は省略したほうが自然ですね。でも、フランス語では、主語とか目的語になっている代名詞は普通は省略できないんだよ。

フランス語は *Je t'aime!* （僕は きみを 愛しているよ!）

日本語は 「愛しているよ!」

1) 目的語の働きをする人称代名詞の位置



フランス語の目的語の働きをする代名詞は動詞の前に置かれます。



肯定文： 主語 + 動詞 + 目的語 +
Je connais Eric. 訳：

↓

⇔目的語の代名詞 le (彼を)

↓

Je le connais. 訳：
主語 目的語 動詞



否定文中でも目的語の働きをする代名詞は動詞の前に置かれます。



否定文：主語 + ne + 動詞 + pas + 目的語
Je ne connais pas Eric.

訳：

↓

⇔目的語の代名詞 le (彼を)

↓

Je ne le connais pas.
主語 目的語 動詞

訳：

目的語の代名詞の位置に関して、次の2点に関して注意しましょう。

- ・代名詞が不定詞の目的語になっている場合
- ・代名詞目的語が肯定命令文で使われている場合



不定詞（動詞の原形）の代名詞化された目的語

ここで、不定詞（動詞の原形）の代名詞化された目的語は _____ に置かれる。

主語	不定詞	目的語	
Je	vais voir	Eric.	私はエリックに会うでしょう。

Je vais **le** voir.

私は彼に会うでしょう。

Je **le** vais voir.

次は肯定命令文の場合について見てみましょう。実は、「目的語代名詞は動詞の前」という原則の例外なのです。



肯定命令文中の代名詞目的語の位置

「 _____ + _____ 」の語順になります。

Finissez **votre travail** ! あなたの仕事をやってしまいなさい。

Finissez-**le** ! それをやってしまいなさい。

2) 直接目的の代名詞か間接目的の代名詞か？



直接目的語と間接目的語の代名詞：直接目的語の場合

→ →

主語	動詞	名詞
Je	connais	Eric.

訳： 私はエリックを知っています。

↓
Eric は動詞のすぐ後に来ている

↓
直接目的語

↓
直接目的語の代名詞 **le** (彼を)

↓
Je **le** connais. 訳：私は**彼**を知っています。

 **Check** 直接目的語と間接目的語の代名詞：間接目的語の場合

	+		+		→		→
主語		動詞		前置詞		名詞	
Je		téléphone		à		Eric.	

訳： 私は**エリック**に電話します。

↓
Eric は動詞のすぐ後に来ていない。あいだに前置詞 (à) がある。

↓
間接目的語

↓
◀◀◀◀ 間接目的語の代名詞 **lui** (彼に)

↓
Je **lui** téléphone. 訳： 私は**彼**に電話します。

直接目的と間接目的の区別を理解することは、フランス語の文法ではとても重要です。もう一度まとめておきましょう。

 **Check**

動詞と名詞のあいだに前置詞 (à) がないときは、その名詞は
動詞と名詞のあいだに前置詞 (à) があるときは、その名詞は

直接目的語

Je connais **Eric.** 訳：

Je **le** connais. 訳 :

間接目的語

Je téléphone **à Eric**. 訳 :

Je **lui** téléphone. 訳 :

確認練習 : L12-1-1 (Exercice 1)

2. 直接目的語の働きをする人称代名詞

まず、直接目的の働きをする人称代名詞の形を見てみましょう。

Check 直接目的の働きをする人称代名詞

主語	直接目的語	主語	直接目的語
	(私を)		(私たちを)
	(きみを)		(あなた (がた) を)
	(彼を・それを)		(彼(女)らを・それらを)
	(彼女を・それを)		

Check 直接目的 vous の意味

直接目的の vous には次の意味があります。

1. (単数)
2. (複数)
3. (te の複数)

Check le, la, les の用法

le, la, les は,

こともできます。

Je connais **Laure**.

→ Je **la** connais.

私はロールを知っています。

私は彼女を知っています。

Je connais **son adresse**.

→ Je **la** connais.

私は彼女の住所を知っています。

私はそれを知っています。

le, la, les が人以外のものを表す名詞の代わりをする例ももう少し見てみましょう。

- Tu prends **le métro** à Saint-Michel ou à Odéon ?

- Je **le** prends à Odéon.

- きみが地下鉄に乗るのはサンミシェルですか、それともオデオンですか？

- 私は（**それに**）オデオンで乗ります。

- Vous lisez **le journal** le matin ou le soir ?

- Je **le** lis le soir.

- あなたが新聞を読むのは朝ですか、それとも夜ですか？

- 私は（**それを**）夜読みます。

さあ、それでは直接目的格の代名詞を実際に使う練習をしましょう。

例 1.

Je ne connais pas cette jeune fille.

私はその女の子を知りません。



ステップ 1

Q. 目的語は名詞のままに続く文を作ったら、どうなるか？

A.

きみはその女の子を知っている？

 **ステップ 2**

Q. cette jeune fille は直接目的語か間接目的語か？

A. cette jeune fille と動詞 (connais) のあいだには前置詞の à はないから, cette jeune fille は _____ ですね。

 **ステップ 3**

Q. cette jeune fille をどの直接目的の働きをする代名詞で置き換えるか

A. cette jeune fille は三人称の単数・女性ですから, _____ で置き換えます。

 **ステップ 4**

Q. la を文中のどこに置くか？

A. 目的語の働きをする代名詞は動詞の前に置くのでしたから

きみは彼女を知っている？

確認練習 : L12-2-1 (Exercice 2)

こんどは, 他の例で直接目的格の代名詞を実際に使う練習をしましょう。

例 2.

Elle ne connaît pas cette nouvelle.
彼女はそのニュースを知りません。

 **ステップ 1**

Q. 目的語は名詞のままで次に続く文を作ったら, どうなるか？

A.

彼らはそのニュースを知っていますか？

 **ステップ 2**

Q. cette nouvelle は, 直接目的語か間接目的語か？

A. cette nouvelle と動詞 (connaissent) のあいだには前置詞の à はないから, cette nouvelle は _____ ですね。

 **Check** ステップ 3

Q. cette nouvelle をどの直接目的の働きをする代名詞で置き換えるか？

A. cette nouvelle は三人称の単数・女性ですから、**celle** で置き換えますね。

 **Check** ステップ 4

Q. la を文中のどこに置くのか？

A. 目的語の働きをする代名詞は動詞の前に置くのでしたから

彼らはそれを知っていますか？

確認練習：L12-2-2

 **Point**

le, la, les で置き換えることができるのは、固有名詞か定名詞句。でも、置き換える名詞句が不定名詞句か定名詞句かは、あくまでも代名詞に置き換える文中で判断する。このことを具体的に見てみましょう。

例 3.

Il a des lettres à écrire.

彼は手紙を書かなければならない。

 **Check** ステップ 1

Q. 目的語は名詞のままに続く文を作ったら、どうなるか？

A.

彼はその手紙を明日書くでしょう。

 **Check** ステップ 2

Q. les lettres は、定名詞句ですね。では、直接目的語か間接目的語か？

A. les lettres と動詞(écrire)のあいだには前置詞の à はないから、les lettres はですね。

 **Check** ステップ 3

Tu écris à ta fille ?

きみはきみの娘さんに手紙を書くのかい？

 Check ステップ 1

Q. 目的語は名詞のままで次に続く文を作ったら、どうなるか？

A.

うん、私の娘にはよく手紙を書くよ。

 Check ステップ 2

Q. この文では *ma fille* は直接目的語か間接目的語か？

A. *ma fille* の前には前置詞(*à*)がありますから、
です。

 Check ステップ 3

Q. *à ma fille* をどの間接目的の働きをする代名詞で置き換えるか？

A. *ma fille* は三人称の単数ですから、
で置き換えます。

 Check ステップ 4

Q. *lui* を文中のどこに置くか？

A. 目的語の働きをする代名詞は動詞の前に置くのでしたから

うん、彼女にはよく手紙を書くよ。

確認練習 : L12-3-1

こんどは、他の例で間接目的格の代名詞を実際に使う練習をしましょう。

例 2.

Vous écrivez à votre fils ?

あはたがたは息子さんに手紙を書きますか？

 Check ステップ 1

Q. 目的語は名詞のままで次に続く文を作ったら、どうなるか？

A.

はい、私たちは私たちの息子によく手紙を書きます。

 **Check** ステップ 2

Q. notre fils は直接目的語か間接目的語か？

A. notre fils の前には前置詞(à)がありますから、ですね。

 **Check** ステップ 3

Q. à notre fils をどの間接目的の働きをする代名詞で置き換えるか？

A. さきほど、à ma fille は lui で置き換えましたね。フランス語では、英語や日本語のように、him「彼に」と her「彼女に」の区別をしないということでしたから、notre fils もやっぱり で置き換えます。

 **Check** ステップ 4

Q. lui を文中のどこに置くか？

A. 目的語の働きをする代名詞は動詞の前に置くのでしたから

はい、私たちは彼によく手紙を書きます。

確認練習 : L12-3-2 (Exercice 3)

さあ、こんどは代名詞の間接目的語の入った否定文を作る練習です。次の否定文を作ってみましょう。

例 3.

「彼は私に手紙を書いてくれません。」

 **Check** ステップ 1

Q. まず肯定文を作ってみましょう。「彼は私に手紙を書きます。」は？

A.

彼は私に手紙を書きます。

 **Check** ステップ 2

Q. 今度は今作った文を否定文にします。「彼は私に手紙を書いてくれません。」

は？

A. 否定形は「代名詞目的語＋動詞」全体を ne と pas で挟んで

彼は私に手紙を書いてくれません。

さあ、こんども代名詞の間接目的語の入った否定文を作る練習をしましょう。

例 4.

「彼女たちはあなたがたに手紙を書きません。」

 Check ステップ 1

Q. いきなり否定文を作るのが難しいと思う場合は、まず肯定文を作ってみるといいですね。「彼女たちはあなたがたに手紙を書きます。」は？

A.

彼女たちはあなたがたに手紙を書きます。

 Check ステップ 2

Q. では、否定文「彼女たちはあなたがたに手紙を書きません。」は？

A. 否定形は「代名詞目的語＋動詞」全体を ne と pas で挟んで

彼女たちはあなたがたに手紙を書きません。

確認練習：L12-3-3

最後に、(助)動詞＋不定詞(動詞の原形)の構文で代名詞の間接目的語を使う練習をしてみましょう。次の文の à mes parents を代名詞にして、「私は彼らに手紙を書くでしょう」という文を作ってみましょう。

例 5.

Je vais écrire à mes parents.

私は両親に手紙を書くでしょう。

 Check ステップ 1

Vous **vous** levez vite.

→ Levez-**vous** vite.

訳 :

 **Check** 強勢形

2 me, te は, , となる。
肯定命令文 : 動詞 - ()

Vous **m'**écrivez.

→ Ecrivez-**moi**.

訳 : 私に手紙を書いてください。

Tu **te** lèves vite.

→ Lève-**toi** vite.

訳 : はやく起きなさい。

確認練習 : 12-2-1 (自律学習)

肯定命令文は、例外的ですが、否定命令文は原則通りに作ります。

 **Check** 語順

目的語の働きをする代名詞は に置く。

否定命令文 : Ne + + pas

Tu ne me téléphones pas.

→ Ne me téléphone pas.

訳 : 私に電話しないでね。

Vous ne lui écrivez pas.

→ Ne lui écrivez pas.

訳：彼に(彼女に) 手紙を書かないように。

Nous ne les donnons pas aux enfants.

→ Ne les donnons pas aux enfants.

訳：子供たちにそれらをあげないように。

確認練習：L12-2-2 (自律学習)

確認練習：L12-2-3 (Exercice 3) (自律学習)

Exercice Synthétique